

平成25年度 学校法人高山短期大学事業報告書

1. 法人の概要

- 設置する学校・学科等

高山自動車短期大学 自動車工学科

高山短期大学附属幼稚園

- 当該学校・学科等の学生数の状況（平成25年5月1日現在）

学校名	学科名	入学定員	収容定員	在籍数
高山自動車短期大学	自動車工学科	150名	350名	270名
	専攻科 自動車工学専攻	20名	40名	11名
高山短期大学附属幼稚園		名	300名	213名

- 役員・教職員の概要等

	理事数	監事数	評議員数	教員数	職員数	備考
法人	9名	2名	20名	-名	2名	
高山自動車短期大学	-	-	-	22	14	非常勤教職員は除く
高山短期大学附属幼稚園	-	-	-	12	2	〃

- 教員の内訳

	教授（教諭）	准教授	講師	助教	助手	男性	女性
高山自動車短期大学	6名	3名	9名	3名	1名	22名	0名
高山短期大学附属幼稚園	12	-	-	-	-	0	12

- 教員の年齢別人員

	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代
高山自動車短期大学	1名	4名	6名	9名	2名	0名
高山短期大学附属幼稚園	-	-	1	1	0	10

2. 事業の概要

- 当該年度の事業の概要

学校法人高山短期大学の平成25年度決算は5月19日に理事会並びに評議員会で審議を受け、承認されました。

法人全体において、教育環境の充実を図ると共に諸費の見直し等による歳出減の努力を行なった結果、資金・消費収支とも安定した状態を維持しております。

- 当該年度の主な事業の目的・計画

- 実学を所信とする本学は、国家二級自動車整備士及び一級自動車整備士資格の全員取得を目標に掲げ、産業界が求める新技術・顧客対応能力を備えた人材育成を行う為、学科・実習教育において科目の見直しを行ったり、世界ラリーでは18年連続参戦完走を果たすなど、多大な学習成果を挙げている。

幼稚園においては、音楽教育を基本として、更にコンピュータやキッズイングリッシュの学習を取り入れ、教育の幅を広げ、質の向上に努めるとともに、園の安全管理や預り保育などの充実を図っている。

- 施設設備関係においては、学生会館の暖房機器の改修、取替工事や、キャンパス内下水道切替工事を行い、学生により安全かつ清潔な環境を整え、園児・学生の為キャンパス全体の整備を行い、学生の要望に応じて二輪・四輪自動車の学内走行実験が行えるよう設備の保全に努めている。

- 当該事業計画の進捗状況等

- 国家二級自動車整備士登録試験においては、ガソリン・100%、ディーゼル・99.0%という高い合格率を達成し、専攻科の国家一級整備士試験においても6名全員合格した。

また、後援会企業から実習教材車両を6台寄附していただくなど、実習設備等の充実と、フロント実務や情報処理の実践的な教育に対し、企業より高い評価を受け就職率(100%)に大きく寄与している。

また、幼稚園においては、教育内容や預り保育に対して、父母からの評価も高いものとなっており、昨今の児童の減少傾向を受けつつも、園児確保に繋がっている。

- キャンパスの整備や学生が学びやすい環境づくり、また幼稚園においては、自然豊かな園内での健康で明るい情緒豊かな園児の育成を目指している。

3. 財務状況の概要（平成25年度決算）

学校法人の設置する私立学校は、一般企業のように営利を目的とするのではなく、「建学の精神」と「教育研究の理念・目標」に基づき、自主性を重んじた教育活動と研究活動を遂行することを目的としています。

この教育研究活動をより円滑に遂行するためには、正確な財務情報から教育研究活動の結果を把握するとともに、事業計画に基づく適切な予算編成が必要となります。

私立学校振興助成法第14条において、国または地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は、文部科学大臣の定める「学校法人会計基準」に従って計算書（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及びこれに付随する明細表）を作成し、その計算書に公認会計士または監査法人の監査報告書を添付して所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

以下、平成25年度決算の概要について記載いたします。

1. 資金収支計算書（別表1 参照）

資金収支計算書は、会計年度中に行った教育研究活動をはじめとした全ての活動による資金の流入及び流出を正確に記録することによって、その会計年度における資金調達及び資金使途の内容並びに資金（現金及び預貯金）残高の状況を明らかにするものであります。

なお、資金調整勘定には次の収支が含まれています。

- ・ 期末未収入金：当該年度中に受入れる収入の内、翌会計年度以降に入金されるもの。
- ・ 前期末前受金：当該年度中に受入れる収入の内、前会計年度までに入金されたもの。
- ・ 期末未払金：当該年度中に支払うべき支出の内、翌会計年度以降に支出されるもの。

今年度の資金収支計算書については、資金収入の合計が3億3,750百万円で資金支出の合計は1億4,650百万円となり次年度繰越支払資金は1億9,100百万円となりました。

2. 消費収支計算書（別表2 参照）

消費収支計算書は、会計年度中の消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を記載することによって、その会計年度における経営状況を明らかにするものであります。一般企業の作成する損益計算書も経営状況を明らかにするための計算書類ですが、会計年度中の利益計算を目的としている点が、学校法人会計の消費収支計算書とは性格を異にしております。

今年度の消費収支計算書については、帰属収入合計額7億3,500百万円で消費収入合計額は7億700百万円、消費支出合計額は6億6,800百万円となり、当年度消費収支差額は3,900百万円の収入超過となりました。

3. 貸借対照表（別表3 参照）

貸借対照表は、会計年度末時点の資産と、その資産の源泉となった負債、基本金、消費収支差額を記載することによって、財政状態の健全性を明らかにするものであります。

また、基本金とは次のものをいいます。

- ・ 第1号基本金：校地、校舎、機器備品、図書、車両等の固定資産の取得価格。
- ・ 第2号基本金：将来取得する固定資産の取得目的で積み立てた資産等の額。
- ・ 第3号基本金：奨学基金、研究基金等の資産等の額。
- ・ 第4号基本金：文部科学大臣の定める恒常的に保持すべき運転資金の額。

貸借対照表の平成26年3月31日現在の資産総額は1億3,415百万円、負債総額は5億6,500百万円となり、基本金の総額は1億1,410百万円となり、翌年度繰越消費収入超過額は2億7,900百万円となりました。

本法人としては、財政基盤の確立に努力し、さらに教育環境の充実を図るものであります。

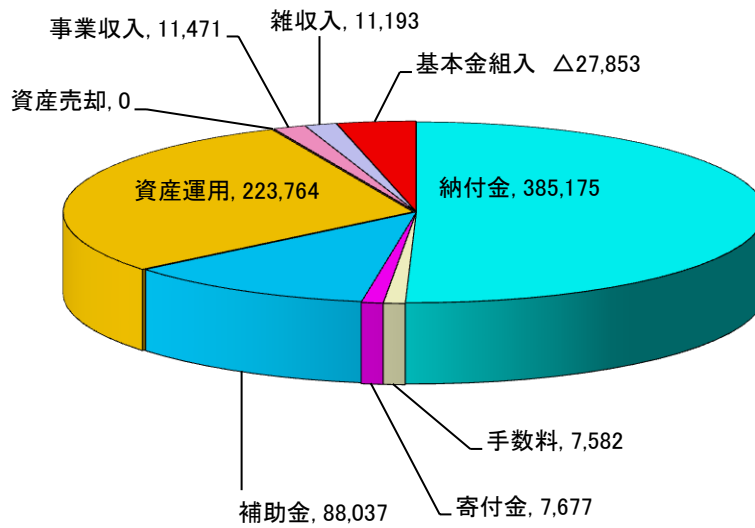
貸借対照表は、会計年度末時点の資産と、その資産の源泉となった負債、基本金、消費収支差額を記載することによって、財政状態の健全性を明らかにするものであります。

財務比率比較表

名称	算式(×100)	21	22	23	24	25	名称	算式(×100)	21	22	23	24	25
		%	%	%	%	%			%	%	%	%	%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	57.2	58.4	51.1	55.4	47.6	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.1	87.1	86.0	85.9	85.7
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	96.6	104.5	98.4	99.8	90.8	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資産}}$	94.9	95.9	95.9	95.8	95.8
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	35.3	38.3	38.8	37.5	31.7	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	757.8	700.2	750.5	684.6	687.4
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	13.1	15.4	12.6	12.3	11.6	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	108.7	115.7	105.6	108.8	94.5	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	3.8	4.2	4.2	4.4	4.4
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	59.1	55.8	52.0	55.6	52.4	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}}$	21.1	20.5	20.4	20.0	20.2

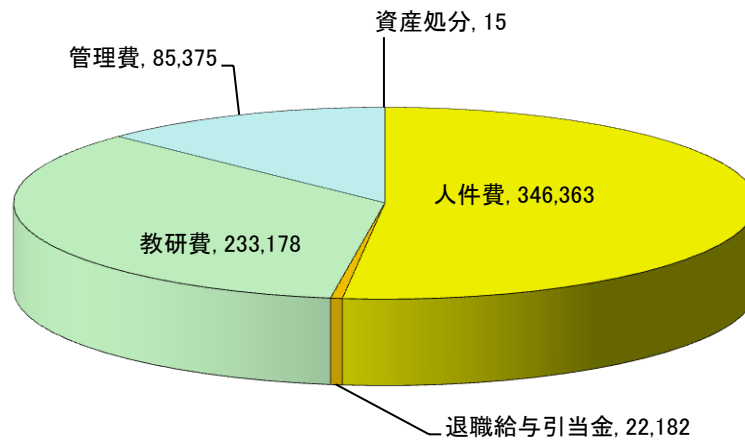
消費収入の部

単位:千円



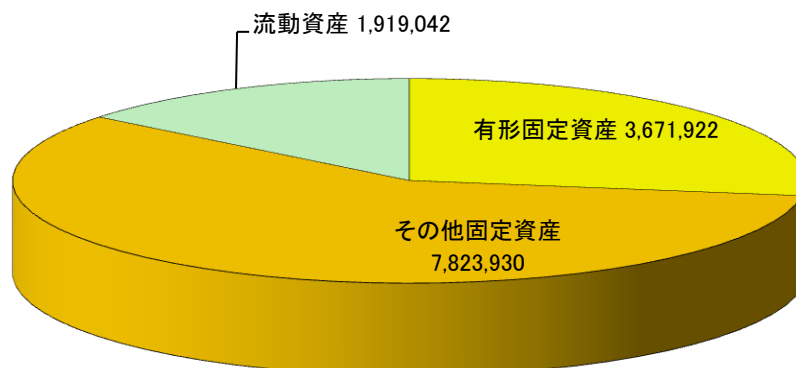
消費支出の部

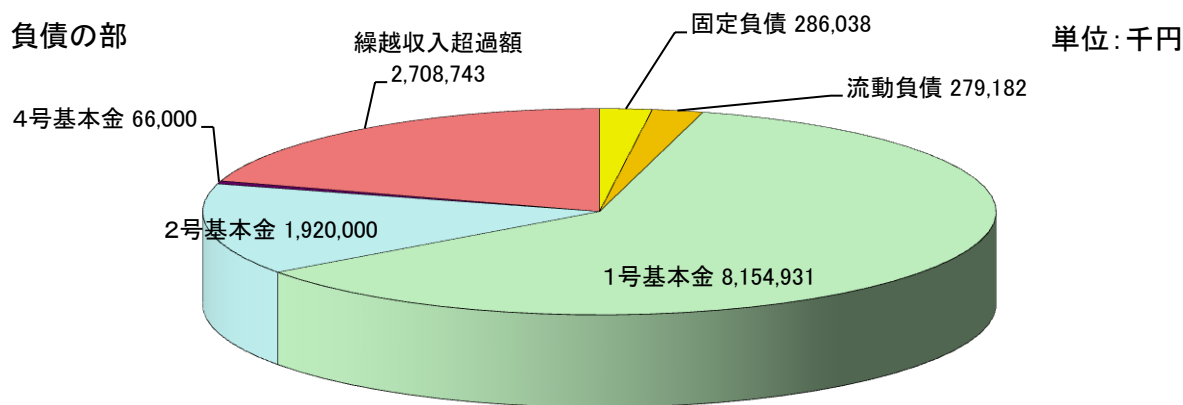
単位:千円



資産の部

単位:千円





4. 平成26年度教職員及び学生数の状況 (平成26年5月1日現在)

- 当該学校・学科等の学生数の状況

学校名	学科名	入学定員	収容定員	在籍数
高山自動車短期大学	自動車工学科	150名	300名	268名
	専攻科 自動車工学専攻	20名	40名	12名
高山短期大学附属幼稚園			300名	200名

- 教職員の概要等

	教員数	職員数	備考	非常勤教員	非常勤教員比率	学生数/教員
高山自動車短期大学	22名	15名	3名専攻科含む	5名	18.50%	14.1名
高山短期大学附属幼稚園	12	2		3名	20.00%	(専攻科教員3名除く)

- 教員の内訳

	教授(教諭)	准教授	講師	助教	助手	男性	女性
高山自動車短期大学	6名	4名	8名	3名	1名	22名	0名
高山短期大学附属幼稚園	12	-	-	-	-	0	12

- 教員の年齢別人員

	80歳代	70歳代	60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代
高山自動車短期大学	1名	-名	4名	6名	9名	2名	-名
高山短期大学附属幼稚園	-	-	-	1	1	-	10